



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社スタジオアリス

コード番号 2305 URL <http://www.studio-alice.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川村 廣明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 広報・IR室長

(氏名) 田中 和幸

TEL 06-6343-2600

四半期報告書提出予定日 平成28年5月10日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	6,548	6.5	△576	—	△575	—	△567	—
27年12月期第1四半期	6,150	△0.5	△866	—	△849	—	△757	—

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 △571百万円 (—%) 27年12月期第1四半期 △745百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	△33.42	—
27年12月期第1四半期	△44.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第1四半期	26,478	18,418	66.7	1,039.55
27年12月期	28,087	19,755	67.7	1,119.15

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 17,656百万円 27年12月期 19,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	3.6	5,450	2.1	5,430	1.8	2,900	7.0	170.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当連結グループの売上高は11月前後の七五三の時期に集中することから下半期に偏重しており、上半期の業績予測が極めて困難な状況にあります。したがって、第2四半期連結累計期間の業績予想を公表していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期1Q	17,185,650 株	27年12月期	17,185,650 株
28年12月期1Q	201,318 株	27年12月期	201,258 株
28年12月期1Q	16,984,359 株	27年12月期1Q	16,984,392 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューの手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等が継続したことを背景に、企業業績や雇用情勢の改善、設備投資の増加などにより、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、日銀による前例のないマイナス金利政策の実施、海外においては、中国経済をはじめとした新興国や資源国等の景気の下振れ懸念が増すなど、先行きが不透明な状況が続いております。このような状況のもと、当社グループは、主力である写真事業において、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みを行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,548百万円（前年同期比6.5%の増加）、営業損失は576百万円（前年同期は866百万円の営業損失）、経常損失は575百万円（前年同期は849百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は567百万円（前年同期は757百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(写真事業)

写真事業は、前年も実施した「入園入学キャンペーン」、「桃の節句キャンペーン」及びお子様の笑顔を撮ることに絶対の自信をもつ当社だからこそできる「百日赤ちゃん 笑顔の写真絶対撮りますキャンペーン」を実施し、撮影件数の獲得を図りました。

これらの取り組みを行った結果、フランチャイズ店舗を含む全店の撮影件数は前年同期比で101.0%となり、開店1年以上経過した既存店の撮影件数は同97.4%となりました。

国内子ども写真館の出店状況は8店舗出店、退店3店舗を行い、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を14店舗実施いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、国内子ども写真館492店舗（直営店舗482店・フランチャイズ店舗10店）、アミューズメント写真館3店舗、ペット写真館1店舗、韓国の子会社における子ども写真館3店舗、台湾の合弁会社における子ども写真館5店舗を含め、504店舗となっております。

以上の結果、写真事業の売上高は6,543百万円（前年同期比7.3%の増加）、セグメント損失は574百万円（前年同期は876百万円のセグメント損失）となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、生産コストの低減活動を継続しつつ、当社向けオリジナルブランド衣装等の生産を行うとともに、本年1月より成人振袖レンタル事業を九州地区で開始いたしました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は221百万円（前年同期比37.6%の増加）、セグメント利益は16百万円（前年同期は3百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ1,609百万円減少し26,478百万円となりました。

流動資産は、法人税等及び配当金の支払いに伴う現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末と比べ1,662百万円減少の9,177百万円となりました。

固定資産は、新規出店等による有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末と比べ53百万円増加の17,300百万円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ272百万円減少し8,059百万円となりました。

流動負債は、法人税等の支払いによる未払法人税等の減少及び短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ274百万円減少の5,550百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加及び固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の減少等により、前連結会計年度末と比べ2百万円増加の2,508百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,336百万円減少し18,418百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失及び前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、平成28年2月10日に公表いたしました連結業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(3) 追加情報

（法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正）

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成28年法律第15号）及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」（平成28年法律第13号）が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の32.2%から平成29年1月1日に開始する連結会計年度及び平成30年1月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については30.8%に、平成31年1月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については、30.6%となります。

この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は31,262千円減少し、法人税等調整額（借方）が同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,818,128	4,955,335
受取手形及び売掛金	825,115	882,534
たな卸資産	1,318,871	1,462,605
その他	1,914,528	1,912,235
貸倒引当金	△36,020	△35,000
流動資産合計	10,840,623	9,177,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,525,206	8,519,801
その他(純額)	3,380,232	3,464,651
有形固定資産合計	11,905,439	11,984,453
無形固定資産	1,147,954	1,145,725
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,291,459	3,317,106
その他	1,108,458	1,067,537
貸倒引当金	△206,635	△214,335
投資その他の資産合計	4,193,282	4,170,308
固定資産合計	17,246,676	17,300,487
資産合計	28,087,299	26,478,198
負債の部		
流動負債		
買掛金	255,851	275,450
短期借入金	—	1,000,000
未払法人税等	1,281,894	119,065
賞与引当金	79,809	163,474
その他	4,208,176	3,992,821
流動負債合計	5,825,732	5,550,811
固定負債		
退職給付に係る負債	827,107	850,062
資産除去債務	1,239,258	1,249,067
その他	439,939	409,308
固定負債合計	2,506,305	2,508,438
負債合計	8,332,037	8,059,249

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	15,204,666	13,872,825
自己株式	△275,592	△275,722
株主資本合計	18,870,472	17,538,502
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	137,569	117,535
その他の包括利益累計額合計	137,569	117,535
非支配株主持分	747,220	762,911
純資産合計	19,755,262	18,418,948
負債純資産合計	28,087,299	26,478,198

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	6,150,164	6,548,391
売上原価	5,528,564	5,639,100
売上総利益	621,599	909,291
販売費及び一般管理費	1,487,845	1,485,615
営業損失(△)	△866,245	△576,323
営業外収益		
受取利息	864	668
受取家賃	6,354	6,417
受取補償金	12,608	1,352
為替差益	—	241
雑収入	9,670	6,809
営業外収益合計	29,497	15,489
営業外費用		
支払利息	2,697	858
店舗解約損	53	4,122
貸倒引当金繰入額	8,000	8,000
為替差損	1,262	—
雑損失	1,001	1,300
営業外費用合計	13,015	14,280
経常損失(△)	△849,762	△575,115
特別利益		
固定資産売却益	—	4,199
特別利益合計	—	4,199
特別損失		
固定資産廃棄損	116,671	42,027
減損損失	5,765	71,217
特別損失合計	122,436	113,245
税金等調整前四半期純損失(△)	△972,199	△684,161
法人税、住民税及び事業税	81,595	89,728
法人税等調整額	△307,961	△222,037
法人税等合計	△226,366	△132,308
四半期純損失(△)	△745,833	△551,852
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,637	15,690
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△757,471	△567,542

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純損失(△)	△745,833	△551,852
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	200	△20,033
その他の包括利益合計	200	△20,033
四半期包括利益	△745,632	△571,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△757,270	△587,576
非支配株主に係る四半期包括利益	11,637	15,690

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,099,153	51,011	6,150,164	-	6,150,164
セグメント間の内部売上高又は振替高	825	109,814	110,639	△110,639	-
計	6,099,978	160,826	6,260,804	△110,639	6,150,164
セグメント損失(△)	△876,472	△3,354	△879,827	13,581	△866,245

(注) 1. セグメント損失(△)調整額13,581千円には、固定資産の調整額等64,839千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△51,257千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては5,765千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,542,217	6,174	6,548,391	-	6,548,391
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,670	215,139	216,810	△216,810	-
計	6,543,888	221,313	6,765,202	△216,810	6,548,391
セグメント利益又は損失(△)	△574,393	16,140	△558,253	△18,070	△576,323

(注) 1. セグメント利益又は損失(△) 調整額△18,070千円には、固定資産の調整額等31,218千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△49,289千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては71,217千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。